

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

メールの挨拶文は省略しましょう

～労働時間(残業)を短くする工夫～



取組事例紹介

業種：情報通信業 従業員数：98名

日々、情報の共有や報告を行う社内メールについて、多くの人を「TO」や「CC」に入れなければならない、また、挨拶文も考えなければならないことから、メール業務の効率化に取り組んだ。

＜メール送信・受信業務の効率化＞

- メール送信時の「日頃よりお世話になります。」「よろしくお祈りします。」といった「気遣い文」は、どんな上役に送信するときも不要であること、相手の職名も省略してよいこと、また、用件のみを必要最小限の長さで作成することを組織決定した。
- メールの送信にあたって、「TO」はメールの相手、CCは情報共有の相手であることを改めて理解させるとともに、各部署のメーリングリストを作成し、迅速な宛先設定を可能とした。



- ・メールの送受信を効率化することは、1件1件の業務量でみたときに小さいものであるが、それが積み重なることによって、大きな業務量削減につながった。
- ・簡潔なメールのやり取りを行うようになったことから、情報共有も迅速化し、ほかの業務へも良い影響を与えるようになった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatotoyo@aichi-sr.com